

第23回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和元年12月4日(水) 午前10時00分～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 6人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

■令和元年第8回遠軽町議会（定例会）に提出する案件から

・条例制定等について

遠軽町合葬墓条例の制定についてであります。

近年、少子高齢化や核家族化に伴い、墓の継承や管理に不安を持たれる方が増えていることから、本年度、町が管理する合葬墓を建立し、令和2年4月から供用を開始することとしたため、条例を整備し適切な管理運営に努めるものであります。

次に、遠軽町立学校設置条例の一部改正についてであります。

これまで、瀬戸瀬小学校の保護者が中心となり今後の瀬戸瀬小学校のあり方について検討された中で、瀬戸瀬地域の各団体や地域住民との協議を重ねて来た結果、今年4月のPTA総会で、令和3年3月31日をもって閉校するという結論が出されたことにより、遠軽町立学校設置条例の一部を改正する条例を定めるものであります。

■旭川・紋別自動車道 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC間開通について

高規格道路旭川・紋別自動車道の丸瀬布遠軽道路であります遠軽瀬戸瀬ICから遠軽ICまでの区間が、今月21日土曜日の午後3時に開通することになりました。

また、遠軽ICの開通に先だち、網走開発建設部等による開通記念式を同日午前11時から遠軽町武道館で執り行われる予定であり、その後通り初めを行ったのちに午後2時30分から実行委員会により遠軽IC開通と道の駅遠軽森のオホーツクの落成式を兼ねました祝賀会を多くのご来賓及び関係者をお招きして開催いたします。

この開通により、高次医療施設への救急搬送の速達性及び確実性の向上、さらには道央圏とのアクセス向上により、オホーツク圏の産業の振興、観光の活性化等が期待される所であります。

【道の駅 見学ツアー】

12月21日、遠軽IC開通を記念して、町民を対象とした「道の駅 見学ツアー」を開催します。

当日は、バスでの通り初めと遠軽ICに隣接する道の駅「遠軽 森のオホーツク」を見学する内容となっております。

昨日から募集開始をしたところですが、電話受付開始30分ほどで、募集定員の100人を超える応募があり、道の駅に対する町民の皆様の関心の高さと期待の大きさが感じられたところであります。

町民の皆様で、遠軽IC開通を盛り上げ、「ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅」を、一足先にご覧いただければと思います。

■「道の駅 遠軽 森のオホーツク」オープンについて

開業に向けて準備を進めていた「道の駅遠軽森のオホーツク」については、今月22日（日）午前9時にオープンします。

オープンに当たり、14日から各種行事を予定しております。

【報道機関向け内覧会】

まず、14日（土）9時から、報道機関向け内覧会を行います。

報道機関向け内覧会では、道の駅駅長による施設概要説明の後、施設内を見学していただきます。

当日は、オープン前につき車両通行規制を行っておりますので、内覧会での取材を希望される場合は、事前に商工観光課まで連絡くださいますようお願いいたします。

【町民向け内覧会】

その後、同日の10時から16時まで、町民向け内覧会を行います。

町民向け内覧会では、フードコートや売店も営業し、一足先に道の駅を満喫していただくこととしております。

町民向け内覧会は事前の参加申し込みを不要としておりますが、車両通行規制を行っておりますので、町が用意するシャトルバスのみでの入場となります。

シャトルバスは「役場発」、「武道館発」は、概ね30分おきに、「白滝・丸瀬布方面」、「生田原・安国方面」は、それぞれ往路復路1本ずつ運行することとしております。

【オープン前日花火大会】

オープン前日となる21日（土）16時30分からは、えんがるロックバレースキー場のグレンデを会場にして、道の駅オープンを祝した花火大会を行います。

この花火大会では、静岡県から「三ヶ日町手筒保存会」の皆さんを招いての手筒花火のほか、打上花火も行います。

花火の観覧については、混雑による事故防止のため、事前予約による抽選の参加としており、現在、観覧希望者を募集しているところであります。

【オープン当日のセレモニー】

オープン当日、22日（日）8時45分からは、挨拶、テープカットによるオープニングセレモニーを行います。

【ポケモンマンホール蓋（ポケふた）設置について】

北海道と株式会社ポケモンの連携事業の一環として、このたび、株式会社ポケモンから道内15市町にポケモンのキャラクターがデザインされたマンホール蓋が寄贈されました。

遠軽町においては、「道の駅 遠軽 森のオホーツク」駐車場手前に設置したところでありますが、設置場所については、22日の道の駅オープン日まで立入規制をしていますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

一つ一つのマンホール蓋のデザインは違うものとなっており、当町のものは「北海道だいすき発見隊！」の「アローラロコン」と「ユキメノコ」という2体のキャラクターが使用されています。

道の駅とともに「ポケふた」も楽しんでいただければと思います。

■東日本学校吹奏楽大会等について

8月30日と9月1日に、札幌市のk i t a r aで行われた北海道吹奏楽コンクールにおいて、南小学校と南中学校が金賞を受賞し、10月12日に南中学校が、10月13日に南

小学校が、石川県金沢市で開催された第19回東日本学校吹奏楽大会に出場し見事、金賞に輝きました。

また、9月28日に苫小牧市で行われた北海道バンドフェスティバルと北海道マーチングコンテストで東小学校、遠軽中学校、遠軽高等学校がそれぞれ金賞を受賞し、11月23日に、大阪市で開催された、第38回全日本小学校バンドフェスティバルに東小学校が、11月24日には、第32回全日本マーチングコンテストに遠軽中学校と遠軽高等学校が、出場し、残念ながら3校とも金賞とはなりませんでしたが、全国に「吹奏楽のまち遠軽町」を印象づけるとともに、町民に大きな誇りを与えていただき、心から感謝申し上げ、その努力を讃えたいと思います。

■全日本少年春季軟式野球全国大会出場について

9月23日に滝川市で開催された「第11回全日本少年春季軟式野球北海道予選会・第16回北海道中学校軟式野球選抜選手権大会」において遠軽中学校野球部が準優勝し、令和2年3月20日から静岡県で開催される「文部科学大臣杯第11回全日本少年春季軟式野球大会」に出場する切符を得たところであります。

これは、遠軽町内の中学校で「初」の全国大会出場となる快挙であり、町民に大きな勇気と希望を与えるもので、今後の活躍に期待しているところであります。

■観光イベントについて

今回で第35回目となる「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」の参加申込が12月2日（月）より始まっております。

全国でも例をみない長距離、ワンウェイコースのクロスカントリースキー大会として昭和61年より実施している本大会は、来年2月23日（日）に実施され、第35回記念大会として、小中学生の参加料の無料化や、貸出用スキーの整備など、近年クロカン離れが進んでいる若年層の参加者増加に向けた試みをおこなうこととしており、長期にわたる大会継続に向けた、次世代の競技者を生み出すきっかけづくりとして期待しているところです。

また、記念大会に係る助成金を活用し、大会ホームページのリニューアルや、記録証の即時発行、地域特産品が当たる抽選会を実施するなど、より魅力的な大会を目指して準備をすすめているところです。

大会コースについては従前どおり、個人最長80キロの湧別原野コースから、初心者向け5キロコースまで6種目と、団体駅伝の合計7種目と、本格的競技者からファミリーまで楽しめるバラエティに富んだ設定となっております。

大会の参加申込は来年1月17日（金）までとなっており、大会実行委員会事務局は持ち回りにより、今年度は湧別町が担っております。

冬の体力づくりやレクリエーションに、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

次に、昨年度に引き続き4回目となるFISファーイーストカップ2020ジャパンシリーズ遠軽大会が、えんがるロックバレースキー場で開催されます。

2月29日に遠軽信用金庫杯の大回転が、3月1日に長谷川ペンギンベーカーリーカップの大回転が、2日にはデザートカップの回転がそれぞれ行われ、海外選手を含む約100人の選手がエントリーされる予定であります。

今大会も、陸上自衛隊第25普通科連隊と大会運営に関する協力協定を締結し、コースネットフェンスの設営や滑走面に水を撒き、雪面を凍らせより良い競技環境を整える事前準備、レース当日の競技役員として延べ150人程度の支援をいただくことになっております。

さらに、レース3日間は、CS放送などで活躍するフリーアナウンサーの吉田暁央氏による臨場感あふれるレース展開をお届けできるものと考えております。

新しく生まれ変わった「えんがるロックバレースキー場」に足を運んでいただき、世界で活躍するトップスキーヤーの滑りをご覧いただきたいと思います。